



# 聖ヨハネ会だより

第44号 令和元年 6月

## 敷地内禁煙について

法人事務局長 竹川 和宏

すでにご存じのことと思いますが、望まない受動喫煙の防止を目的とする改正健康増進法が2018年7月に成立しました。この改正により、学校・病院等には2019年7月1日から原則敷地内禁煙（屋内全面禁煙）が、飲食店・職場等には2020年4月1日から原則屋内禁煙が義務づけられます。

このことを受けて、聖ヨハネ会は医療・介護・福祉という分野に携わる法人であることを鑑み、すべての施設において2019年7月1日より敷地内禁煙とすることを決定しました。（桜町病院では以前より実施しています）

このことは職員に対しても周知しました。喫煙は個人の嗜好ではありますが、一方で私たちが携わる職場には多くの方がお見えになるということを考え決定したことです。また患者さんや利用者さんに接する就業時間中に、たとえ休憩時間とはいえ喫煙するということがモラルとしていいのかどうかということも考えました。患者さんや利用者さんの健康を支援するという立場にいる私たちであることを自覚し、職場にいる時は禁煙することに理解を求めたものです。

各施設をご利用されるみなさまにおかれましても、今回の決定の主旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

受動喫煙防止にご協力ください



## 敷地内禁煙



社会福祉法人聖ヨハネ会

## 各事業所の活動

### 院内デイケア

桜町病院 認知症看護認定看護師 中村 享子

超高齢社会となり、桜町病院をご利用される方も後期高齢者の方が多くを占めています。

高齢者は認知機能や注意力や俊敏性、危険回避力が低下してくることで転倒のリスクが高まります。また体の不調をうまく言葉で表現できず疾患が悪化してしまうこともあります。患者さんを表面上だけではなく、全体をみて訴えだけに頼らない医療・看護・介護が求められています。

認知症看護認定看護師としては、認知症の研修や認知機能の低下している患者さんを週1回ラウンドし、患者さんの尊厳を損なう不要な身体拘束がされていないか、患者さんが安心できる環境になっているかなどを検討しています。

また、昨年より昼夜逆転の予防、せん妄の予防、日常生活動作（ADL）が低下しないことなどを目的として週に1回院内デイケア（エンジョイクラブ）を実施しています。グループでのアクティビティの中で、社会性が生まれ参加者同士の会話も生まれ在宅復帰にもつながっています。



### 地域に根ざした事業をめざして

桜町児童ショートステイ 井上 陽子

桜町児童ショートステイでは、現在小学生から高校生までの子どもたちが利用しています。

食後、子どもたちは食器をカートで桜町病院の栄養課へと下膳します。そこではショートステイを卒業した懐かしい顔ぶれ数名が仕事をしており、敷地内を歩いている時には保育所へ食事を運ぶ場面に出会うこともあります。そんな時は親しみのこもった表情でこちらを見てくれます。

今年、また一人の高校生がショートステイを巣立ちます。保護者の方が「卒業後も長年生活し慣れた地域環境で生活させてあげたい。別の事業所でも、同じ理念の聖ヨハネ会の事業所で今後も安心して生活できる時間をもてれば」とお話されていました。

なかには、桜町病院で生まれた子どもや桜町病院をかかりつけ医としている子どももいます。桜町

病院栄養課での卒業生の顔を思い浮かべ、人生の長い期間を聖ヨハネ会のもとで生活されていることを改めて感じました。

地域に根ざした聖ヨハネ会の一事業所として今後も地域貢献できればと願っています。



## 「音楽療法」というケアのあり方

桜町聖ヨハネホーム 音楽療法士 櫻井 唯乃

桜町聖ヨハネホームでは、週に一度デイルームで行う「集団音楽セラピー」、ご利用者のベッドサイドで行う「個別音楽セラピー」など、お一人おひとりの心と体の状態に合わせた音楽的ケアの実践を大切にしています。また、ご利用者が落ち着かない気持ちになりやすい夕暮れ時には「夕暮れ音楽」という活動も実施しています。

音楽に合わせて歌うことや体を動かすことは身体的に、音楽で気分転換や回想をすることは心理的に、そして集団での活動は社会的な面に効果があると言われていています。時には、老いや喪失からスピリチュアルな悩みが表出されることもあり、音楽療法士はそのような悩みに寄り添うべく研鑽を続けています。ご利用者それぞれに歩んでこられた人生、音楽の好みや思い出もお一人おひとり異なっています。大切な音楽をとおして関わることは、その方を大切にすることに繋がると信じています。

日々ご利用者様から「今日は音楽あるの?」「楽しみにしてるわ」というあたたかい言葉と優しい笑顔をいただきます。ホームの職員はご利用者様に声かけをしたり、ケアプランに取り入れたり音楽セラピーをケアの一環として捉えて協力してくれています。

聴覚は一番最期まで残る機能。今後も、老いから看取りまで、ご利用者様とともに「音」「こころ」「人」のハーモニーを奏でていきたいと思っています。





## 小金井公園へお花見

桜町高齢者在宅サービスセンター 秋山 仁

3月29日、総合事業通所型サービスのクラスで外出訓練を行いました。

今回の外出先は「東京都立小金井公園」。皆様ご存知かと思いますが、園内に1,800本の桜の木が植えられた桜の名所として人気があり、日本さくら名所100選に認定されている公園です。

この日、小金井公園の桜は八分咲きといったところでしたが、「久しぶり(数年ぶり?)のお花見」という方や「近くに住んでいるのに初めて来ました」という方もいらっしゃり、曇り空で少々肌寒い天候でしたが、歩行訓練も兼ねて桜の花の下をみんなで歩き、全員で春を満喫いたしました。

また、園内にある芝生広場で休憩し、ご利用者様のお花見の思い出を聞きながら、昔話でも花を咲かせることができました。





## ただいま援農活動実施中！

本町高齢者在宅サービスセンター長 山極 愛郎

本町高齢者在宅サービスセンターは、「みんなの安心・ささえ愛ネットワーク」の益田さんほか法人の仲間らと地元の大久保園さんのご厚意で生産緑地の援農活動を開始しました。

昨年開始した菜園づくりが発展し、車椅子のご利用者様などにも菜園づくりを見て頂ける運びとなりました。

開墾から区画づくり、苗はトマト、ピーマン、茄子、オクラ、里芋、青じそといった野菜類のほか、西瓜、メロンなどの果物や向日葵も植えました。畑が賑やかになるといいなあ毎日水遣りに余念がありません。

時折、道行く人に「ありゃ、素人がつくった畑だな。」なんて苦笑いされていますが、その通りなんです！畑作業など初めてのド素人集団がチャレンジしています。ド素人のやっていることに是非アドバイスください！

農作業を通じて、お子さん、お父さんお母さん、年配の皆様とお話しできたら嬉しいなあと思っています。ぜひ、畑に冷やかしにきてください。みんなが待っています。



## パンダの会

小金井聖ヨハネケアビレッジ 石山真里子

小金井聖ヨハネケアビレッジには「パンダの会」があります。利用者の皆さんが会員で、パンダの会という名前も利用者さんたちが会議で相談して決めました。

クリスマス会・ソーメン流し・ギョーザパーティー・(みなさんの手作り餃子、形は悪くてもお味はバツグン!)・ミニゲームの会・ギターが得意な職員や、歌の上手なお知り合いを囲んで皆で歌う会・毎回とっても賑やかで楽しくて皆さんの笑顔が満開です。



いつも清瀬聖ヨハネケアービレッジから参加の方も勿論大歓迎！ welcome♪

職員もつられて、つつい仕事を忘れ・・・てはいけませんね。

パンダの会を支えてくれているボランティアの方々、ご協力くださる方に感謝しつつ、次の会議ではどんなアイデアが出てくるのかしら・・・とみんなで楽しみにしています。



清瀬聖ヨハネ支援センター 新屋 悟

こんにちは。明日も行きたい施設を目指し、「おもしろいね」をコンセプトに日々活動している清瀬聖ヨハネ支援センターです。この「おもしろいね」はある利用者が満面の笑みで言っていた言葉。言ってみるとなんだか、おもしろくなりませんか？そんなセンターの外出イベントを紹介します。3月から5月にかけて小グループ外出を実施。行先を2つ提案して、利用者さんがどこに行くか決めました。今話題のムーミンバレーパークや動物園、飛行場。昼食は蕎麦の名店や、回転ずし、大きなハンバーガーを美味しくいただき、皆さん自分で選んで満足した表情。6月からはグループ外出とは別に、ランチ外出も始めます。これからもイベントを企画して、利用者の皆さんが楽しめるひとときを作っていきたいです。



# 令和元年三二運動会

富士聖ヨハネ学園 支援2課 渡邊沙也加

5月22日、富士聖ヨハネ学園中庭にてミニ運動会を開催しました。前日まで雨が降っていましたが、当日は良い天気恵まれ、気持ちの良い風を感じながら行なうことが出来ました。

1種目目は玉転がし。一生懸命玉を転がす方もいれば、玉を蹴って転がす方、玉を持ったまま走り出す方がおり、一人一人の個性がとても表れていました。2種目目は玉入れ。自分達よりも高いカゴが玉でいっぱいになり、カゴから溢れてしまう程、上手に入れていました。3種目目はパン食い競争。パンが並ぶと、今か今かと待ちわびた様子で目を輝かせながら並んでいました。スタートの合図と同時に、器用にパンを取り、美味しそうにパクパクと食べていました。

今回のミニ運動会は初めて開催されましたが、無事進められ、利用者さんも職員さんも一緒に楽しんで参加することが出来ました。また、来年も開催できるよう健康維持に努めながら日々支援に取り組んでいきたいと思えます。



# ヨハネ煎餅が熱い！

富士北麓聖ヨハネ支援センター長 米川 崇

富士北麓聖ヨハネ支援センター、就労継続支援B型の主力製品である“手焼き煎餅”が今それこそ熱い！開設から5年の間に、定番のしょうゆ味の厚焼き、薄焼き、胡麻煎餅から、海苔、ネギ味噌、一味、ザラメ等、味の種類を増やしていき、ご贈答用の詰め合わせにも対応できるようにいたしました。昨年からはレーザー加工機による、煎餅への刻印、絵付け（イラスト）も始め、これがお祝い用の引き出物として好評を博し、今



年度に入り毎日フル稼働で煎餅を焼き続けております。販路も徐々に増え、道の駅富士吉田に加え、今年度からは道の駅つるでも販売開始となりました。

これをお読みの方、是非一度ヨハネ煎餅をご賞味ください。発送も致します。

お問い合わせは0555-24-8390までお願い申し上げます。

## 編集後記

令和になって2か月が過ぎようとしています。そう経験できることのないこういったタイミングに、いろんなことをお考えになった方も多いのではないのでしょうか。一つの節目として日常では思いをはせないことを考えたりすることもあるのかなと思います。そしてまた現実に戻りつつ前を向いて。（竹）

## 社会福祉法人 聖ヨハネ会にご援助を!!

## 会の福祉事業発展のために

私どもの福祉事業は大別すると下記の種類があります

桜町病院（一般病棟・療養病棟・ホスピス病棟）

富士聖ヨハネ学園・富士北麓聖ヨハネ支援センター（障害者支援施設・障害福祉サービス事業）

桜町聖ヨハネホーム（特別養護老人ホーム・老人短期入所事業）

桜町・本町高齢者在宅サービスセンター（老人デイサービスセンター・老人居宅介護等事業）

小金井・清瀬聖ヨハネ支援センター（居宅支援・就労支援事業）

### ★銀行振込★

口座名 社会福祉法人 聖ヨハネ会（普通預金）三菱東京UFJ銀行小金井支店 No.4127570

### ★郵便局振込★ 00190-7-711126 社会福祉法人 聖ヨハネ会